

IV. 四日市港・・・・・・・・都市環境ゼミナール

『美しい中部のみなとまちづくりフォーラム』

- ◆ 開催日時：平成 22 年 11 月 10 日（水）9：30～16：45
（午前の部）9：30～12：00：講演者・パネリスト及び一般公募による市民
の方を対象とした港内視察
（午後の部）13：30～16：45：フォーラム開催
- ◆ 開催場所：四日市商工会議所
三重県四日市市諏訪町 2-5（近鉄四日市駅から徒歩 5 分）
- ◆ 主 催：美しい中部のみなとまちづくりフォーラム実行委員会
（構成：都市環境ゼミナール、四日市市、四日市港管理組合、四日市商工
会議所、四日市港振興会）
- ◆ 後 援：三重県、中部地方整備局、（財）港湾空間高度化環境研究センター
- ◆ 開催テーマ：『四日市港の魅力再発見！～人が集い賑わうみなとまちづくり～』
- ◆ 目 的：「みなと」を核として地域振興を図ろうとする利用者主体の「みなとまちづく
り」を展開するための取組みや、人の交流活性化や観光振興のための方策に
ついて、情報交換や議論を行うことにより、地元のみなとまちづくりを応援
することを目的とする。
- ◆ フォーラム実施結果
 - ・午前の部は、講演者・パネリスト、公募した一般市民の 22 名が、四日市港内を海
上及び陸上から視察。
 - ・午後の部は、地元企業、行政関係者、一般市民の 199 名が参加した。
 - ・基調講演では、「四日市の港と町を考える」と題して小菅氏より、港のこれまで変
遷を紹介した上で、これからの四日市港は、工場誘致、交通インフラ整備などが重
要、また、産業遺産のある旧港地区をノスタルジックエリアとして再整備し、さら
には客船バース必要性を提案された。
 - ・基調報告では、「小樽観光まちづくりの過去・現在・未来～自分がやらなきゃ誰
がやる～」と題して小川原氏より、30年前の小樽運河保存運動から、現在の小樽
観光まちづくりの取り組み、またこれからの小樽観光について報告された。行政
だけでなく、市民が中心となった活動を、ぜひ四日市で
も取り組んでほしい。そうすれば20年、30年後にはすばらしい港になっているだ
ろう。がんばってほしいと激励された。

- ・パネリスト、コーディネータ6名により基調講演・報告、四日市港ワークショップの活動内容を踏まえ討論された。会場からも活発な意見が出され、壇上と会場が一体となってこれからの四日市港を考えられ、有意義なフォーラムとなった。

◆ 実施状況



第7回 美しい中部のみなとまちづくりフォーラム in よっかいち

テーマ

四日市港の魅力再発見!

～人が集い賑わうみなとまちづくり～

平成22年**11月10日(水)** **入場無料**

プログラム① 9時30分～12時00分
みなと見学会 場所/四日市港

プログラム② 13時30分～16時45分
フォーラム 場所/四日市商工会議所 1階ホール

基調講演・基調報告

基調講演:小菅 弘正 氏(四日市港振興会 会長)
基調報告:小川原 格 氏
(小樽市観光プロジェクト推進会議 座長)

パネルディスカッション

パネリスト(五十音順)
小川原 格 氏(小樽市観光プロジェクト推進会議 座長)
小菅 弘正 氏(四日市港振興会 会長)
藤井 信雄 氏(四日市市政策推進部長)

四日市港は、中部圏における代表的な国際貿易港として歴史ある港です。また、我が国有数の石油化学コンビナート等を擁するエネルギー供給基地として重要な役割を果たしており、日本の産業発展に大きく貢献してきました。一方、四日市港は、市民にとっても貴重な親水空間であり、親しまれるみなとまちづくりが強く求められています。今回のフォーラムでは「四日市港の魅力再発見!～人が集い賑わうみなとまちづくり～」と題して、これからの四日市港について考えたいと思います。

ポスター